



# 文化

たちがいるところを感じられる場です。建設費の半分を国の予算で、残りの半分を民間の賛同者の寄付金で賄うたいと思っています。

人と水については、病んでいる湖も沼の水を、ハイテク技術で再生するところを

話し合いたい、と思っただけです。土地は沼湖、使った水やかき混ぜた土で来るような矛盾を話してきます。例えば、水を水処理技術のメッカとして、処理水を利用して世界のチューリップを栽培するなどの融合が図れます。実現すれば、環境と観光産業の融合が図れます。実現すれば、世界の人をも足を運ぶ地域になるでしょう。私たちが築いた観光資源や景観の上に、やももすればお祭りをかかっています。私たちの時代に、新しい観光資源を作ることも必要です。

今年第二回大会は、混雑した時代の中で開くことである中国も、将来の食糧事情は決して明るいものではないと見えています。かつて日本では、その土地で取れたものをその土地で食べ、エネルギーを循環させている世紀を切り拓くことへの情

「人と食」「人と街」がそうです。いずれも調和のとれた自然環境、社会を築く上で欠かせない要素です。人々については、世界の競争と共生がやはり議論の中心となるでしょう。心と手を取りあうことは、なにかの形で、具体的なものとしてあるため、大会を通して新たな価値観を生み出す場を、日本の心の中にもう一言かけるべきだと思います。

# 緑むすび世界大会

〈小松 昭夫〉



## 日本の心のふるさと出雲で

## 新たな価値観構築を

地域の中に配置するので、人が集まれば情報文化事業が生まれ、この地に需要が創出されるのではないだろうか。ローカルのグローバル化が図れるのではないだろうか。日本

報を全国や世界に発信したいと考えています。  
（）神在月縁むすび世界大会「副委員長、小松電機産業社長」

「第一回神在月縁むすび世界大会」(主催・世界八

「人と食」「人と街」がそうです。いずれも調和のとれた自然環境、社会を築く上で欠かせない要素です。人々については、世界の競争と共生がやはり議論の中心となるでしょう。心と手を取りあうことは、なにかの形で、具体的なものとしてあるため、大会を通して新たな価値観を生み出す場を、日本の心の中にもう一言かけるべきだと思います。

「人と食」「人と街」がそうです。いずれも調和のとれた自然環境、社会を築く上で欠かせない要素です。人々については、世界の競争と共生がやはり議論の中心となるでしょう。心と手を取りあうことは、なにかの形で、具体的なものとしてあるため、大会を通して新たな価値観を生み出す場を、日本の心の中にもう一言かけるべきだと思います。

話し合いたい、と思っただけです。土地は沼湖、使った水やかき混ぜた土で来るような矛盾を話してきます。例えば、水を水処理技術のメッカとして、処理水を利用して世界のチューリップを栽培するなどの融合が図れます。実現すれば、環境と観光産業の融合が図れます。実現すれば、世界の人をも足を運ぶ地域になるでしょう。私たちが築いた観光資源や景観の上に、やももすればお祭りをかかっています。私たちの時代に、新しい観光資源を作ることも必要です。

今年第二回大会は、混雑した時代の中で開くことである中国も、将来の食糧事情は決して明るいものではないと見えています。かつて日本では、その土地で取れたものをその土地で食べ、エネルギーを循環させている世紀を切り拓くことへの情

報を全国や世界に発信したいと考えています。  
（）神在月縁むすび世界大会「副委員長、小松電機産業社長」